



大阪大学
OSAKA UNIVERSITY

指定国立大学法人構想の展開等に向けたヒアリング

参考資料集

目次

(実績関係)

1. 未来を見据えた研究者の育成・獲得（人材育成・獲得）
2. 社会課題に挑戦する教育プログラムの展開（人材育成・獲得）
3. 若手研究者の環境整備（SAKIGAKEクラブ）（人材育成・獲得）
4. 人文学・社会科学による社会課題の解決（研究力強化）

(第4期に新たに取り組む事項)

5. OUマスタープラン2027の概要
6. Student Life-Cycle Support体制の整備
7. 新たな産学共創のための機能強化（未来社会共創コンソーシアム）
8. 情報基盤整備（OUDXイニシアティブ）の全体像
9. カーボンニュートラルに世界規模で貢献できる大学へ

(その他)

10. 情報推進本部・情報セキュリティ本部体制図

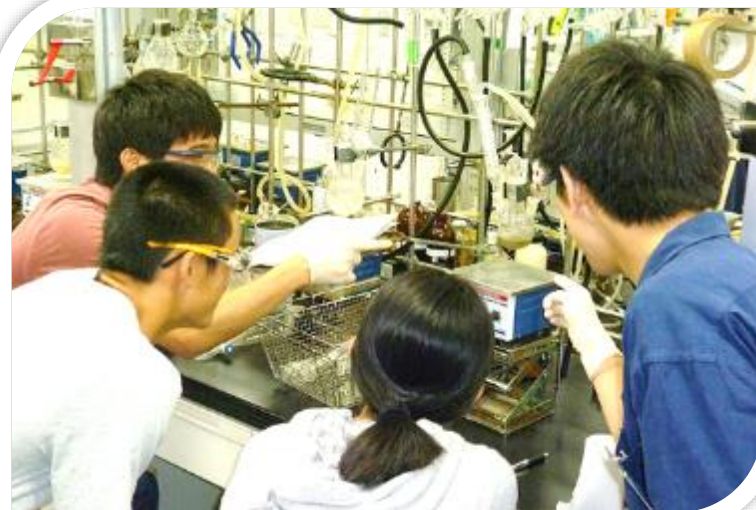
将来を見据えた研究者の育成・獲得

「大阪大学SEEDSプログラム」



- 高校生対象
- 大学の世界最先端研究に触れ
小さな好奇心を大きく伸ばす

全国から応募422名（定員130名）



「めばえ適塾」

- 小学5年生～中学3年生 40名
- 理系センスを身に付け、
未来の科学者としての芽を育む



吉森 保 教授(生命)・紫綬褒章受章者(2019秋)
による授業風景





今期の成果

社会課題に挑戦する教育プログラムの展開

「社会との共創」による人材育成プログラムを推進

医歯薬生命系のプログラム

2018年度 卓越大学院プログラム採択

生命医科学の社会実装を推進する卓越人材の涵養

- 国立の各研究所や大手製薬会社等と連携し、
医歯薬生命系の研究成果を社会実装に導く人材を育成する

理工情報系のプログラム

2019年度 卓越大学院プログラム採択

多彩な知の協奏による先導的量子ビーム応用卓越大学院プログラム

- 「核医学分野」の共同研究を中心とした地球規模の社会課題への解決
- The University of British Columbiaと連携

人文社会科学系のプログラム

2020年度 開設

グローバル日本学教育研究拠点の形成

- 社会実装の基礎学としての「日本学」の素養を身に付けた
グローバル人材の育成





SAKIGAKE CLUB

先導的な学際研究を実施する研究体を形成する「仕掛け」

目的

本学の卓越した若手研究者で構成されるクラブ

交流の場

資金獲得の場

憩いの場

入会資格

概ね45歳以下の卓越した本学の若手研究者
会員数 約60名



成果の一例

共創の場形成支援プログラム（COI-NEXT）に申請 等

URAによる異分野交流の支援から、新たな研究が始まる





人文学・社会科学による社会課題の解決

2050年「いのちを大切にする社会」の実現

文部科学省「人文学・社会科学を軸とした学術知共創プロジェクト」に採択

▶ 未来社会が直面するであろう諸問題のために、**人文学・社会科学の知がどのように貢献でき、何をなし得るか**を考察するプロセスの体系化を目指す。

阪大が全国で唯一の採択！
SSIを中心に活動を展開！

【設定されている大きなテーマ】

- 人口動態を見据えた社会・人間の在り方
- 分断社会の超克
- 新たな人類社会を形成する価値の創造

3つのステップで課題解決を目指す

Step 1 ワークショップ・
若手研究者セミナー

← 諸課題発見・整理

Step 2 研究チーム構築

← 個別課題を研究

Step 3 シンポジウム開催

← 解決策提言



社会ソリューションイニシアティブ

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS





「OUマスタープラン2027」

<中長期的な大学の道標>

縦軸となる方針

- ① **教育基盤** → 知性あふれる人材の育成環境の構築
- ② **研究基盤** → 自由な発想が芽吹く研究環境の構築
- ③ **経営基盤** → 共創を中核に据えた経営体制の構築

横軸となる方針

- ④ コロナ新時代に対応するデジタル革新
- ⑤ グローバル化とダイバーシティ & インクルージョン
- ⑥ 自由な発想が芽吹く豊かな時間の創出（働き方改革）
- ⑦ 社会との共創を醸成し活性化させるブランディングの展開





6. Student Life-Cycle Support体制の整備

学生のライフステージに合わせた 教育・支援！

教育DX



高大接続



学部



大学院



卒後のキャリア・
リカレント教育

- 教育効果を可視化し社会へ説明
- 個々の学生の学修（自己実現）支援
- 不断の教育改革（カリキュラム改革）

フィードバック

データ収集

DX in Education

入学前から卒業後までのデータベースを統合
教育効果の分析

入試情報

学務情報

学生アンケート
情報

キャリア
サポート情報



研究IR

教育IR





7. 新たな産学共創のための機能強化

未来社会共創コンソーシアム立ち上げ（2020年4月）

社会課題や将来構想について産業界と大阪大学が探索、検討し、解決策を探る

産学官連携オフィス（窓口機能）



医歯薬生命系戦略会議

人文社会科学系戦略会議

理工情報系戦略会議

大型共同研究

全学体制で将来の
社会課題を探索・検討

解決すべき
課題

未来社会像

解決すべき
課題

(Make the future!)

解決すべき課題の特定

大学側相談員

企業相談者

議論

研究者

相談員

プロジェクト化

共創PJ検討会

- ・ 相談員・研究者との解決手段構築
- ・ 共創プロジェクト案設定
- ・ 連携研究者候補・企業等の紹介

各部局注目知財
注目教員

各部局
技術シーズ

阪大発
ベンチャーシーズ

国・省庁の動き
社会ニーズ

Step 0, Step 1

Step 2

未来社会共創コンソーシアム





8. 情報基盤整備（OUDXイニシアティブ）の全体像

教育・研究・大学経営を支える 新たな情報基盤の構築



OUデジタル・トランスフォーメーション・イニシアティブ

ブレンデッド教育を支える 学修環境の高度化の実現 (DX in Education)

- 学修状況の可視化
- 情報インフラの整備



研究活動のフルオンライン化を 可能とするeResearch環境の 整備 (DX in Research)

- 研究・実験環境のDX化
- 研究データ集約管理基盤の整備
- 研究データの公開



戦略的な大学経営を支える DX in Managementの実現

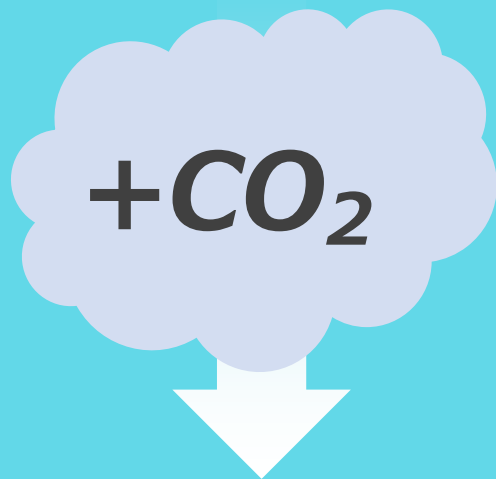
- デジタル化による学生サービス
向上、効率化
- 経営判断に資するデータ把握





9. 社会との共創によるグリーン・リカバリーの推進

カーボンニュートラルに世界規模で貢献できる大学へ



±0



- 革新的なイノベーションによる新たなエネルギーの研究
- 世界的な状況変化に対応できる人材の育成

- 排出削減を徹底した施設整備

目標

大阪大学全体の温室効果ガス排出量
2030年度までに **政府目標の達成**
を目指す

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



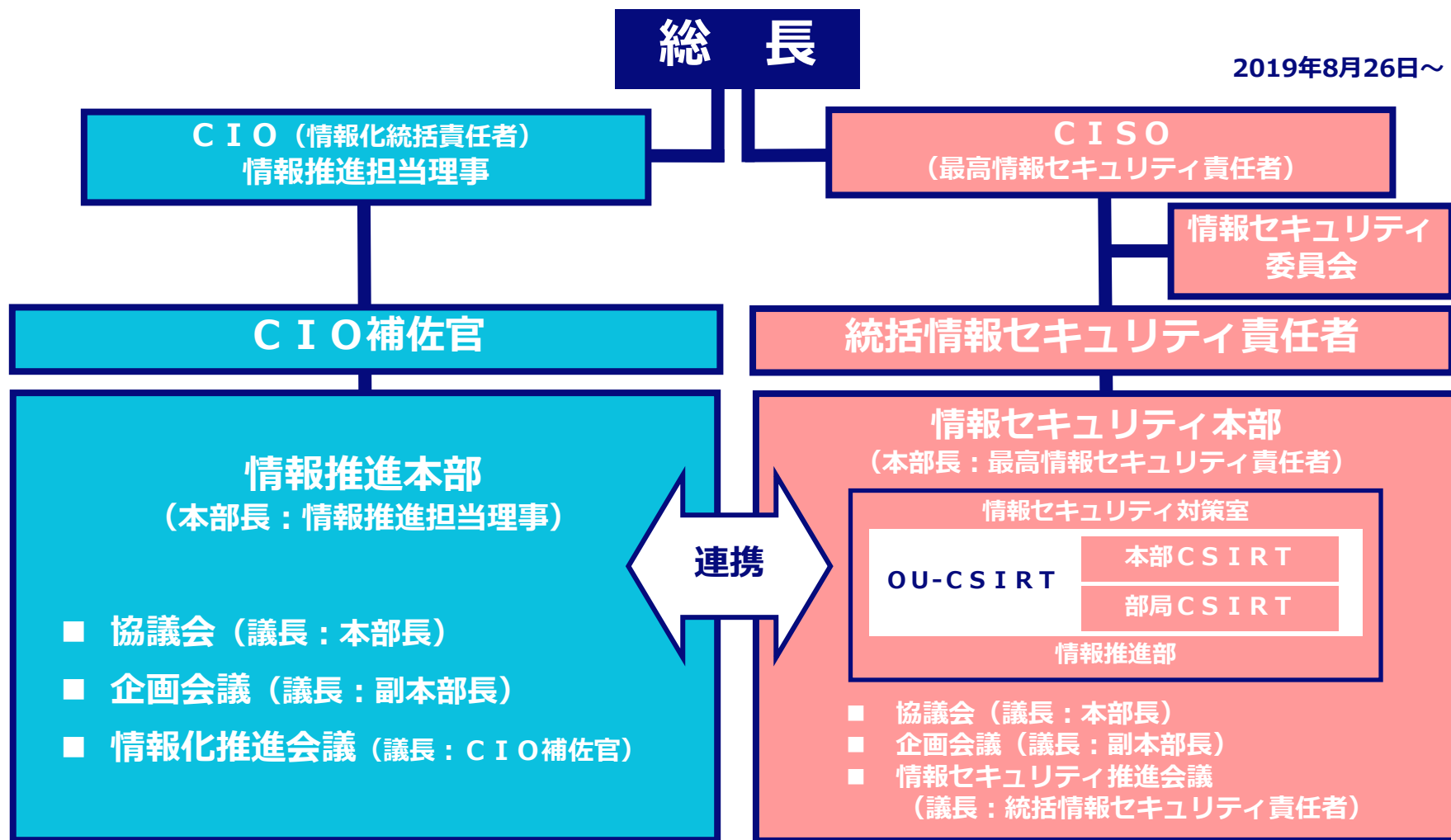
脱炭素社会の実現





10. 情報推進本部・情報セキュリティ本部体制図

- 情報化を推進する体制（アクセル）
 - 情報セキュリティを統制する体制（ブレーキ）
- 両輪を整備



CSIRT：情報セキュリティインシデントに対応するための専門チーム

